

三菱電機 冷蔵庫冷却システム

ハイクオリティコントローラ [業務用]

形名

AC-100HQ-UC1, 2, 3, 4-HE

AC-100HQ-UC1, 2, 3-HM

AC-100HQ-UC2-GE

AC-100HQ-UC1-WE

AC-100HQ-UC1-WM

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 各部の名称	7
2. 付属品	9
3. ご使用の前に	10
4. 使用方法	11
5. お手入れ	13
6. 定期点検のお願い	14
7. 移転・移設時のお願い	15
8. 据付工事の確認と試運転	16
9. 修理を依頼する前に	17
10. 法令関連の表示	20
11. 保証とアフターサービス	21

取扱説明書

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」をお渡しください。
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。


This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.


もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 各部の名称	7
1-1. 各部のなまえとはたらき	7
1-1-1. 操作部	7
1-1-2. 表示部	8
2. 付属品	9
3. ご使用の前に	10
3-1. 使用上のお願い	10
3-2. 警報装置の設置のおすすめ	10
4. 使用方法	11
4-1. 冷却開始	11
4-2. 霜取	12
4-3. 停止	12
5. お手入れ	13
6. 定期点検のお願い	14
7. 移転・移設時のお願い	15
7-1. 移設時の据付場所について	15
8. 据付工事の確認と試運転	16
9. 修理を依頼する前に	17
10. 法令関連の表示	20
10-1. 保安上必要な事項の記載	20
11. 保証とアフターサービス	21
11-1. 無料保証期間および範囲	21
11-1-1. 保証できない範囲	22
11-2. 補修用性能部品の保有期間	23
11-3. 修理を依頼されるときは（出張修理）	23
11-4. お問い合わせ	24

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しく下さい。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しく下さい。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しく下さい。

一般事項

警告

改造はしないこと。

- ◆けが・感電・火災のおそれあり。



殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- ◆変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



安全装置・保護装置の設定値は変更しないこと。

- ◆設定値を変えると、ユニット破裂・爆発のおそれあり。



ヒューズ交換時は、針金・銅線を使用しないこと。指定容量のヒューズを使用すること。

- ◆発火・火災のおそれあり。



保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- ◆保護装置を改造して運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- ◆冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



コントローラの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

- ◆工具などが落下すると、けがのおそれあり。



運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- ◆火傷・感電のおそれあり。



コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- ◆引火・火災・爆発のおそれあり。



コントローラを水・液体で洗わないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。
- ◆ 回転機器により、けがのおそれあり。



薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。

- ◆ 薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口ご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



コントローラのカバーを取り付けること。

- ◆ ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



注意

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- ◆ 感電・故障のおそれあり。



動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- ◆ 保存品が品質低下するおそれあり。



部品端面に触れないこと。

- ◆ けが・感電・故障のおそれあり。



保護具を身に付けて操作すること。

- ◆ スイッチ（運転－停止）をOFFにしても基板の各部や端子台には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。



電気部品を触る場合は、保護具を身に付けること。

- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆ けがのおそれあり。



コントローラの廃棄は専門業者に依頼すること。

- ◆ 環境破壊のおそれあり。



移設・修理をするときに

警告

分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ けが・感電・火災のおそれあり。



基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ◆ ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

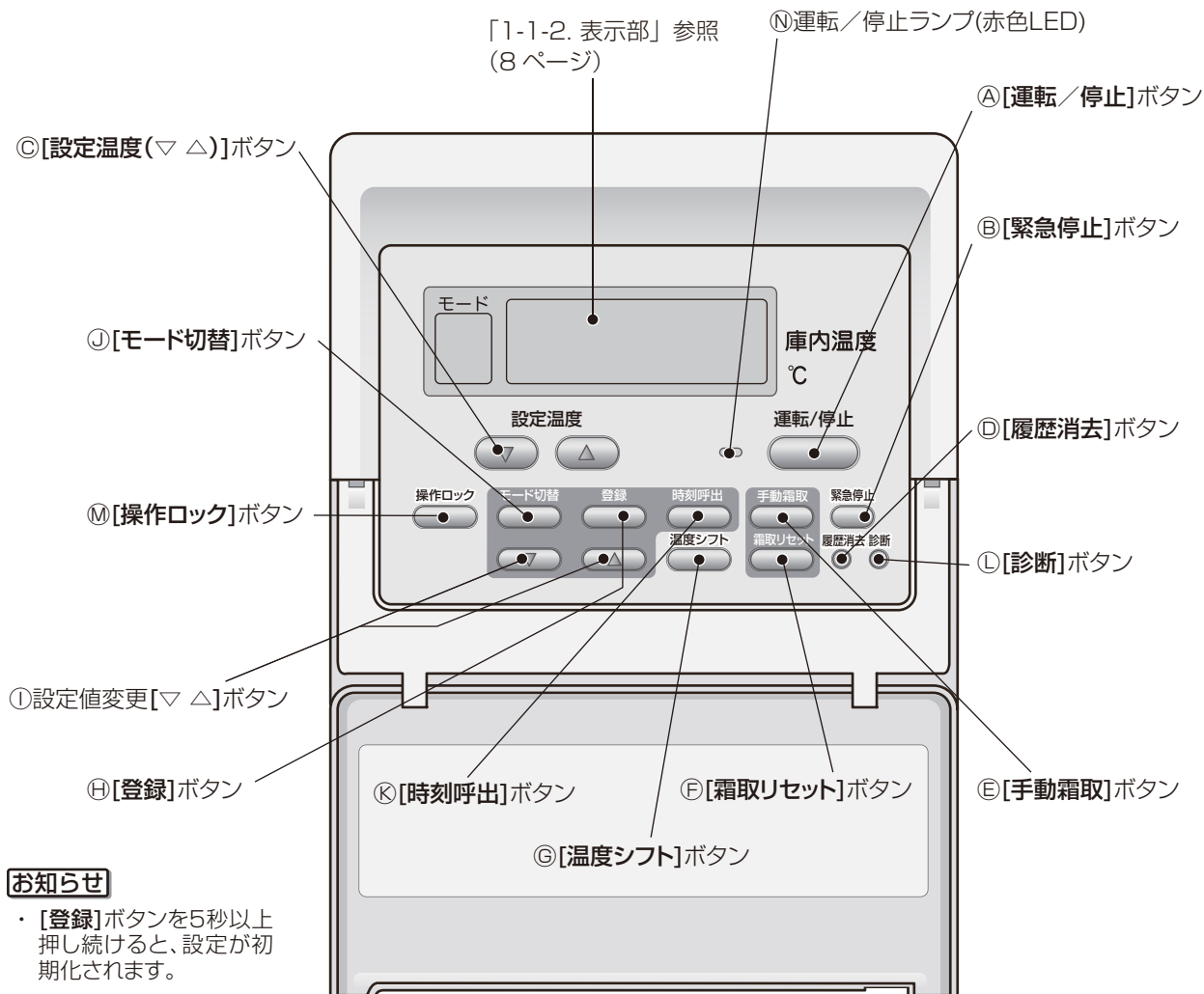


指示を
実行

1. 各部の名称

1-1. 各部のなまえとはたらき

1-1-1. 操作部

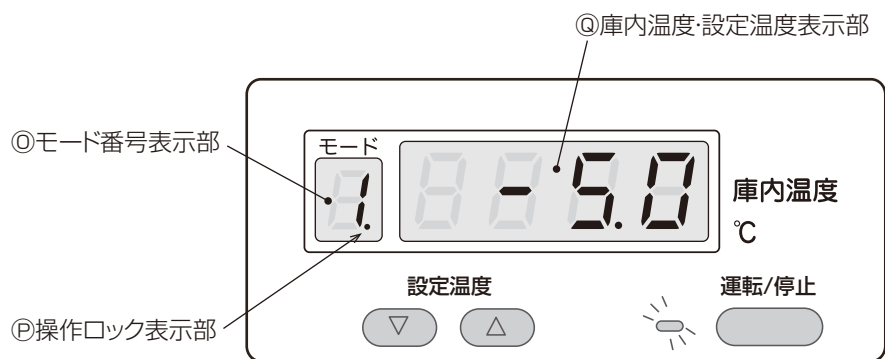


お知らせ

- ・ [登録] ボタンを5秒以上押し続けると、設定が初期化されます。

項目	説明
⑫ [運転/停止] ボタン	ボタンを2秒以上押し続けるたびに、運転⇄停止が切り替わります。異常時は、いったん停止させることにより異常停止が解除されます。
⑬ [緊急停止] ボタン	ボタンを押すと、ユニット運転(圧縮機、冷却ファン)が瞬時に停止します。
④ [設定温度(▽ △)] ボタン	ボタンを押すと、設定温度の調整ができます。
⑭ [履歴消去] ボタン	自己診断モード中にボタンを押すと、過去の異常履歴を消去します。
⑮ [手動霜取] ボタン	ボタンを押すと、強制的に霜取を開始します。
⑯ [霜取りリセット] ボタン	ボタンを押すと、霜取運転時に霜取を強制終了します。 ・ [霜取りリセット] ボタンを押すときは、霜取が終了していることを確認してください。
⑰ [温度シフト] ボタン	ボタンを押すと、設定された温度シフト差分、庫内温度設定が下がります(最初の1回のみ)。
⑱ [登録] ボタン	設定変更[▽ △] ボタンで変更した値を登録します。
⑩ 設定変更[▽ △] ボタン	設定モード時、各種設定値を変更します。
⑪ [モード切替] ボタン	ボタンを押すと、設定項目(モード)を切り替えます。
⑫ [時刻呼出] ボタン	ボタンを押すと、モード6~8で設定する時刻の表示を切り替えます。
⑬ [診断] ボタン	ボタンを押すと、自己診断モードに入ります。 5秒以上押し続けると、リモコン診断モードに入ります。
⑭ [操作ロック] ボタン	ボタンを2秒以上押し続けると、他の操作ボタンが無効になります。 ・ [運転/停止]、[緊急停止] ボタンはロックしません。
⑯ 運転/停止ランプ (赤色LED)	運転時、点灯します。 停止時、消灯します。 異常時、点滅します。


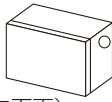







1-1-2. 表示部



項目	説明
①モード番号表示部	[モード切替] ボタンを押すたびに、モード番号表示が切り替わります。
②操作ロック表示部	操作ロック時に表示します。
③庫内温度・設定温度表示部	庫内温度もしくは設定温度・設定時刻を表示します。

2. 付属品

本コントローラには、下記付属品が同梱されています。

No.	品名	形名・仕様	外観	個数	備考
1	リモコン	RB-4DG		1	
2	接触器 ボックス	AC-100HQ-UC1, 2, 3, 4-HE AC-100HQ-UC1, 2, 3-HM AC-100HQ-UC2-GE AC-100HQ-UC1-WE AC-100HQ-UC1-WM	 形名 (フタ下面)	1	
3	リモコン ケーブル	2心5m		1	
4	温度センサ	2心30m		1	
5	サーミスタ カバー			1	
6	PTT ねじ -SUS	4 × 12		2	サーミスタカバー取付用
7	ボルト -SUS	4 × 8		1	庫内温度サーミスタ固定用 (AC-100HQ-UC2-GE のみ)
8	ナット -SUS			1	
9	サーミスタクリップ			1	

3. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 本製品の据付工事は、販売店(工事店)が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「8. 据付工事の確認と試運転(16ページ)」の事項をお客様ご自身でご確認ください。
- 販売店(工事店)が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店(工事店)から説明を受けてください。

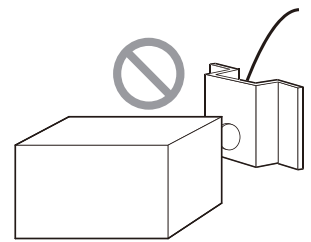
3-1. 使用上のお願い

1) 設置状態を確認してください。

- リモコンの温度センサが庫内温度を検知する適切な位置に設置されていることを確認してください。温度センサ設置場所については据付工事説明書を参照してください。

2) 温度センサの周囲に商品を置かないでください。

- 温度センサの前に商品を置くと、適切な庫内温度を検知できません。

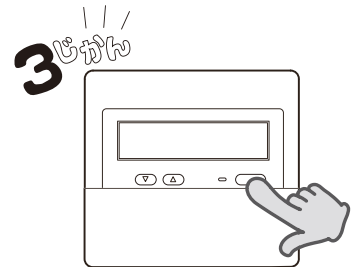


3) 運転スイッチを3分以内で繰り返し操作しないでください。

- 圧縮機に無理がかかり、故障するおそれがあります。
- 運転スイッチを3分以内で操作した場合、圧縮機は運転しません。3分間経過するまで待ってください。

4) 半日以上停止した後再び運転する場合、主電源を入れて少なくとも3時間経過後にコントローラの[運転/停止]ボタンを「入」にしてください。

- 圧縮機内部から油が大量に持ち出され、圧縮機が故障するおそれがあります。



5) ユニットの使用範囲を守ってください。

- 範囲外で使用した場合、故障のおそれがあります。

3-2. 警報装置の設置のおすすめ

保護回路が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子を設けていますので警報装置を接続するようにしてください。万一、運転が停止した場合に処置が早くできます。また高温警報の信号を出力する端子も設けていますので、温度管理が容易に対応できます。高級品の貯蔵、医薬品など厳重な温度管理を必要とする場合は、貯蔵品の損傷を未然に防止できるように、警報装置の設置や設備上の配慮(保護サーモ設置など)をお願いいたします。

4. 使用方法

4-1. 冷却開始

警告

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手
禁止

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

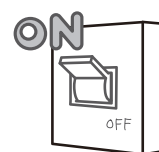


指示を
実行

手順

1. 主電源を入れる。

約1分間リモコンが点滅表示し、その後庫内温度が表示します。



2. [運転/停止] ボタンを2秒以上押し続ける。

誤作動防止のため、2秒以上押し続けると動作します。

庫内温度が表示された直後は、リモコン操作を受け付けないことがあります。数秒待ってから再度操作を行ってください。



3. [設定温度(▽ △)] ボタンのどちらかを1回押す。

表示が「設定温度」に切り替わり、現在の設定温度を表示します。



4. [設定温度(▽ △)] ボタンを押し、設定したい温度に数値を合わせる。

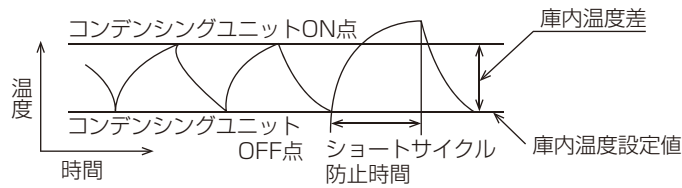
お願い

- ・ ボタン操作時、右図の表示をする場合、ユニットコントローラで手元操作禁止を設定しています。お買い上げの販売店(工事店)へ相談してください。



お知らせ

- ・ 庫内温度設定と庫内温度差の関係
 庫内温度の設定値は、ユニットの停止する温度 (OFF：切値) を示します。ユニットが運転する温度 (ON：入値) は庫内温度差分だけ高くなります。



- ・ ショートサイクル防止機能が付いています。庫内温度差を小さくした場合でも冷蔵庫内の負荷の程度によっては、コンデンシングユニットON点を超えることがあります。

5. 庫内が適温になってから、商品を入れる。
 外気温や冷蔵庫によって適温になる時間は異なります。

4-2. 霜取

霜取は自動的に行います。“冷却運転”途中で霜取を行う場合は操作パネルを開けて【**手動霜取**】ボタンを押してください。
 なお、霜取中は表示部に「dF」が表示されます。

- ・ ヒータ霜取の場合、冷却器ファンは霜取中停止します。
- ・ 霜取中（「dF」表示中）は手動霜取を受け付けません。



4-3. 停止

手順

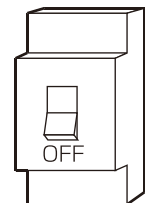
1. 【**運転/停止**】ボタンを再度押す。
 運転/停止ランプが消灯し、しばらくしてユニットが停止します。



お願い

- ・ 霜取中（「dF」の表示中）は【**運転/停止**】ボタンを押さないでください。

2. 長期間（数日以上）停止する場合は、主電源を切る。



5. お手入れ

警告

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



接触禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- 火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- 回転機器により、けがのおそれあり。



指示を
実行

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。

- 薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

注意

作業する場合は保護具を身に付けること。

- けがのおそれあり。



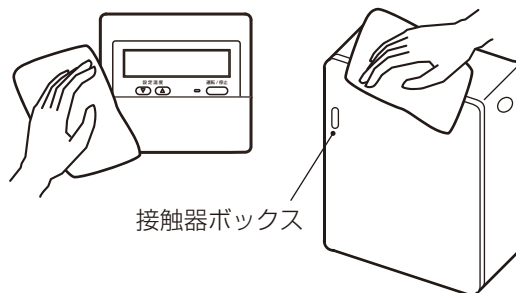
指示を
実行

- シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは、製品を傷めますので使用しないでください。

[1] リモコン・接触器ボックス

(1) キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。



接触器ボックス

6. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)に連絡してください。

7. 移転・移設時のお願い

7-1. 移設時の据付場所について



分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

・けが・感電・火災のおそれあり。



- ・増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店(工事店・サービス店)、または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)に相談してください。
- ・コントローラの移設時は、販売店または専門業者に依頼し、据付場所は「据付工事説明書」に従って選定してください。

8. 据付工事の確認と試運転

- 本製品の据付工事は、販売店(工事店)の据付工事の資格保持者が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店(工事店)が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店(工事店)から説明を受けてください。
- 据付工事が完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。

内容	チェック欄
• 「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。	
• 運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。	
• 試運転に立ち会いましたか。	
• 据付工事説明書の据付工事のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。	

9. 修理を依頼する前に

- 以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときはご使用を中止し、電源スイッチを切り、配線用遮断器（ブレーカ）を切（OFF）にしてください。故障の状況と表示部の英数字を、お買い上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡ください。
- 異常内容の詳細および以下に記載のない異常コードについては「据付工事説明書」を確認してください。

[1] 故障かなと思ったら

現象		原因の確認	処置方法		
運転しない。		主電源・ブレーカが切れています。	完全に入っていますか。もう一度入れなおしてください。		
		停電しています。	復電後自動復帰します。		
		【運転・停止】ボタンが切になっていません。	リモコンの【運転・停止】ボタンを再び「入」にしてください。 運転／停止ランプが点灯していることを確認してください。		
		庫内温度設定値が高くなっています。	設定値を見直してください。		
		ショートサイクル停止中になっています。	頻繁な発停を防ぐためコンデンシングユニットが停止すると約3分間は再起動しません。 約3分間待ってください（運転スイッチをいったん「切」にし、再運転する場合も約3分間起動しません）。		
温度表示部が「E0」、「E1」を表示したとき。 ^{※1}		風通しが悪くなっています。	障害物を取り除いてください。		
E0	冷却中のコンデンシングユニット異常（保護装置作動）	負荷装置やコンデンシングユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっています。			
E1	霜取中のコンデンシングユニット異常（保護装置作動）	コンデンシングユニットの放熱器にごみが付着しています。	放熱器を掃除してください。		
よく冷えない。 または、温度表示部が「HC」を表示したとき。 ^{※2}		扉が開いています。	扉をしっかり閉めてください。		
		HC	高温警報	商品の温度が高すぎます。	熱いものは冷ましてから入れてください。
				お湯、お茶などが高温状態で入っています。	
				風通しが悪くなっています。	障害物を取り除いてください。
				負荷装置やコンデンシングユニットの吸込口や吹出口が商品などでふさがっています。	
				扉の開閉の回数が多いためです。	開閉の回数を減らしてください。
				発熱物がコンデンシングユニットの近くにあります。	発熱物を取り除いてください。
温度表示部が「dF」を表示したとき		霜取中であり、故障ではありません。	霜取終了後一定時間が経過してから、庫内温度を表示します。		
温度表示部が「HO」、「LO」を表示したとき		温度センサが故障しています。	お買い上げの販売店（工事店・サービス店）または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）へ連絡してください。		
HO	温度センサ短絡				
LO	温度センサ断線				

9. 修理を依頼する前に

現象	原因の確認	処置方法
庫内温度表示値が変動する(安定した数値を表示しない)	庫内温度サーミスタ配線に電圧ノイズが生じています。	サーミスタの配線と電源線などのノイズを放つ配線を離して設置してください。M-NET 経由で左記現象が発生する場合は、ノイズの発生源と思われるユニットの外部入出力信号(端子台につなぐ信号)が正しいかを確認してください。
温度表示部が「HH」を表示したとき HH 50℃高温警報	庫内温度が 50℃以上になっているため、ユニットを停止しています。	庫内に発熱物がないか確認してください。該当しない場合は、お買い上げの販売店(工事店・サービス店)または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)へ連絡してください。
温度表示部が「LH」を表示したとき※3 LH 庫内温度低下警報	設定温度以下になってもユニットが運転しているため、ユニットを停止しています。	お買い上げの販売店(工事店・サービス店)または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)へ連絡してください。
温度表示部が「Cd」を表示したとき Cd プレアラーム警報	コンデンシングユニット側の保守点検が必要です。	コンデンシングユニット側の基板 LED 表示内容を確認のうえ、お買い上げの販売店(工事店・サービス店)または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)へ連絡してください。
温度表示部が「99」を表示したとき	外部接点入力による緊急停止が作動しています。	外部接点の設置場所を点検してください。
温度表示部が「H4」、「L4」を表示したとき H4 湿度センサ短絡 L4 湿度センサ断線	湿度センサが故障しています。	お買い上げの販売店(工事店・サービス店)または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)へ連絡してください。
温度表示部が「FE」を表示したとき FE 緊急停止中	集中コントローラ(AE-200J など)からの指示により緊急停止しています。	緊急停止の原因を調査してください。問題が解決されれば集中コントローラで解除操作をしてください。
温度表示部が「CC」を表示したとき CC 機種識別異常	機種の識別に失敗しています。	お買い上げの販売店(工事店・サービス店)または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)へ連絡してください。
モード表示部が「A」を表示したとき	スケジュール設定に基づいてナイトセットバック運転が行われています。	通常冷却運転の開始時刻になれば表示が消えて元の運転に戻ります。
モード表示部が「F」を表示したとき	集中コントローラからの指示によりユニットが強制停止しています。	集中コントローラからの指示が解除されると表示が消えて元の運転に戻ります。
温度表示部が「d0」、「d2」、「d3」を表示したとき d0、d2、d3 ユニット間通信(M-NET)途絶え	ユニット間通信(M-NET)が途絶えています。	お買い上げの販売店(工事店・サービス店)または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)へ連絡してください。なお、このときユニットは霜取運転を行いませんので、長時間運転を継続される場合はユニットクーラの霜の付着量を確認してください。

※1 温度表示部が「E0」、「E1」を表示したときのリセット方法

原因を取り除いてから運転を開始してください。リモコンの【運転/停止】ボタンをいったん切り、再び入れると運転を再開できます。

※2 温度表示部が「HC」を表示したときのリセット方法

リモコンの【運転/停止】ボタンをいったん切り、再び入れるとリセットできます。
ただし、庫内温度が低下していないと再度表示します。

※3 温度表示部に「LH」が表示する条件について

万一の電磁弁(液管)の不具合を考慮して、設定温度から3℃低下した状態を1分以上継続するか、設定温度以下の状態を10分以上継続した後さらに温度が低下する場合、リモコンは「LH」(庫内温度低下警報)を表示します。ただし、外気条件(設定温度より外気温度が低いなど)によっては異常でなくても「LH」表示がでる場合があります。このような表示が出ないように設定できます。販売店(工事店・サービス店)に相談してください。

[2] 次の場合は故障ではありません

1) 温度表示部に「dF」が点滅表示する

霜取終了後、一定時間は庫内温度を正しく表示できない場合があるため「dF」表示を点滅させています。
点滅表示は15分程度で庫内温度表示に戻ります。

2) 表示がちらつく

冷蔵庫の扉の開け閉めの際、静電気によりリモコンの表示がちらつくことがあります。

10. 法令関連の表示

10-1. 保安上必要な事項の記載

以下は、高圧ガス保安協会自主基準〈冷凍装置の施設基準 (KHKS0302-2(2011))〉に基づき記載します。

1) 機器製造者（設備工事業者）の名称・所在地・電話番号：〈最終ページ〉に記載

2) 担当サービス会社の名称・所在地・電話番号：〈最終ページ〉に記載

3) 使用冷媒の名称：コンデンシングユニットに記載、充てん量：コンデンシングユニットに記載

4) 運転および停止の方法

始動準備

- ① 送風機に異物が詰まったり、通風を妨げるものがないか、およびその他に異常がないか点検すること
- ② その他は、「4. 使用方法」の項を参照

始動の操作と始動直後のチェック

- ① 始動は、「4. 使用方法」の項を参照
- ② 始動直後ユニットの異常振動・異常音の発生、および保護装置が作動しないかチェックのこと

運転操作

- ① 運転は、「4. 使用方法」の項を参照

停止操作

- ① 運転停止は、「4. 使用方法」の項を参照
- ② 異常時の緊急停止は手元開閉器により電源を切ること
場合によっては、リモコンの停止スイッチを切ってもよい

5) 保守の要点

- ① 安全装置、警報装置の点検、保守、記録は、「5. お手入れ」の項、「6. 定期点検のお願い」の項、「9. 修理を依頼する前に」の項を参照
- ② 動力装置の点検、電気設備の点検は、「5. お手入れ」の項、「6. 定期点検のお願い」の項、「9. 修理を依頼する前に」の項を参照
- ③ 長期運転停止上のお願い
ユニット運転は主電源を入れた後、3時間経過してからリモコンの【**運転**／**停止**】ボタンを入れる

6) 故障の原因と対策

- ① 「9. 修理を依頼する前に」の項を参照

7) 定期点検、記録、整備

- ① 「5. お手入れ」の項、「6. 定期点検のお願い」の項を参照

8) その他保安上必要な事項

- ① 高圧ガス保安法、冷凍保安規則および冷凍保安規則関係例示基準に基き設備を運転すること

11. 保証とアフターサービス

11-1. 無料保証期間および範囲

- 保証期間は、お買上げ日（据付日または試運転完了日）から1年間です。
なお、無料にて支給するのは故障した部品、または当社が交換を認めたユニットに限ります。（ただし「11-1-1. 保証できない範囲」項に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有料となります。）
なお、製品本体の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れなどによる家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。当社代理店などと相談のうえ、損害保険で対処してください。
（代理店などと相談して損害保険に加入してください。）

11-1-1. 保証できない範囲

1) 下表に指定した範囲外で使用したことによる故障の場合

■ AC-100HQ-UC1, 2, 3, 4-HE、AC-100HQ-UC1, 2, 3-HM
AC-100HQ-UC1-WE、AC-100HQ-UC1-WM

項目	使用範囲		
据付条件	リモコンおよび接触器ボックス 屋内設置（冷蔵庫外壁面など）		
周囲温度	リモコンおよび接触器ボックス - 10 ~ + 40℃（ただし凍結・結露などがないこと）		
庫内温度範囲	高温用	中低温用	超低温用 ※1
	+ 1 ~ + 24℃	- 40 ~ + 17℃	- 57 ~ - 23℃
電源電圧	単相 200V 50 / 60Hz	運転中の電圧	180 ~ 220V
		始動時の最低電圧	180V 以上
		相間電圧不平衡率	2% (4V) 以内
リモコンケーブル長さ	250 m以下（同梱部品、2 心 5m）		
温度センサのリード線長さ	30 m以下（同梱部品、2 心 30m）		

※1 超低温用設定は、中低温用設定の基板に別売の専用サーミスタ (TM-T30L) を取り付けられることで可能となります。

■ AC-100HQ-UC2-GE

項目	使用範囲		
据付条件	リモコンおよび接触器ボックス 屋内設置（冷蔵庫外壁面など）		
周囲温度	リモコンおよび接触器ボックス - 10 ~ + 40℃（ただし凍結・結露などがないこと）		
庫内温度範囲	C&F 級	F 級	超 F 級
	- 45 ~ + 27℃	- 45 ~ - 15℃	- 65 ~ - 35℃
電源電圧	単相 200V 50 / 60Hz	運転中の電圧	180 ~ 220V
		始動時の最低電圧	180V 以上
		相間電圧不平衡率	2% (4V) 以内
リモコンケーブル長さ	250 m以下（同梱部品、2 心 5m）		
温度センサのリード線長さ	30 m以下（同梱部品、2 心 30m）		

■ AC-100HQ-UC2-GE(MSAV-SN 形対応)

項目	使用範囲		
据付条件	リモコンおよび接触器ボックス 屋内設置（冷蔵庫外壁面など）		
周囲温度	リモコンおよび接触器ボックス - 10 ~ + 40℃（ただし凍結・結露などがないこと）		
庫内温度範囲	C&F 級	F 級	
	- 45 ~ + 27℃	- 45 ~ - 15℃	
電源電圧	単相 200V 50 / 60Hz	運転中の電圧	180 ~ 220V
		始動時の最低電圧	180V 以上
		相間電圧不平衡率	2% (4V) 以内
リモコンケーブル長さ	250 m以下（同梱部品、2 心 5m）		
温度センサのリード線長さ	30 m以下（同梱部品、2 心 30m）		

2) 当社の出荷品を据付けにあたって改造した場合

3) 運転、調整、保守の不備による故障の場合

- ・ 塩害
- ・ 据付け場所不備による故障
- ・ メンテナンス不備

4) 天災、火災による故障

5) 据付工事中に不都合がある場合

- ・ 当社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合

6) その他、ユニット据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。

11-2. 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品を製造後9年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

11-3. 修理を依頼されるときは（出張修理）

- ・ 「9. 修理を依頼する前に」にしたがってお調べください。（17ページ参照）
なお、不具合があるときは、ご使用を中止し、必ず電源スイッチを切り、配線用遮断器（ブレーカ）を切（OFF）にしてから、お買い上げの販売店（工事店・サービス店）にご連絡ください。
- ・ 保証期間中は、保証書の規程にしたがって、販売店（工事店・サービス店）が修理させていただきます。
なお、修理に際しまして、保証書をご提示ください。
- ・ 離島および離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ・ 保証期間が過ぎていた場合は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては販売店（工事店・サービス店）にご相談ください。点検・診断のみでも有料となる場合があります。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎていた場合は、修理できない場合があります。
- ・ 修理料金は、技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

- ・ 機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。
- ・ ご連絡いただきたい内容（出張修理対象商品）

お買い上げ日 (据付日または試運転完了日)	年 月 日
故障の状況	「できるだけ具体的に」
ご住所	「付近の目印なども」
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- ・ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

11-4. お問い合わせ

- ・ ご不明な点は、まずお買上げの販売店（工事店・サービス店）にお問い合わせください。お買上げの販売店（工事店・サービス店）にご依頼できない場合は、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）へお問い合わせください。
（所在地、電話番号などについては変更になることがありますのでご了承ください。）

●お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。


1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

MEMO

MEMO

MEMO

便利メモ	設備工事業者
	電話番号
	担当サービス会社
	電話番号

愛情点検		●長年ご使用のコントローラ・ユニットの点検を！	
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ●運転音が異常に大きくなる。 ●負荷装置から水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常・故障がある。 	ご使用中止
		事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。	

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター
0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)
FAX(365日・24時間受付)
0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2020年7月作成

WT09699X01